

平成 29 年 8 月 8 日

各 位

会社名 石油資源開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡田 秀一
 コード番号 1662 (東証第一部)
 問合先責任者 広報 IR 部長 平田 一成
 電話番号 03-6268-7110

業績予想の修正、および営業外費用、特別損失、 法人税等調整額の計上に関するお知らせ

石油資源開発株式会社 (JAPEX、以下「当社」) は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を修正するとともに、平成 30 年 3 月期通期 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) において、営業外費用、特別損失、法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|-------|--------|---------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 214,878 | 2,988 | 5,424 | 5,564 | 97.36 |
| 今回修正予想 (B) | 211,025 | 4,489 | △910 | 1,219 | 21.33 |
| 増減額 (B-A) | △3,853 | 1,501 | △6,335 | △4,345 | |
| 増減率 (%) | △1.8 | 50.2 | — | △78.1 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期) | 207,130 | 685 | 2,222 | 3,443 | 60.24 |

(2) 修正の理由

平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、前回発表予想 (平成 29 年 5 月 12 日) と比較して、売上高は海外原油販売数量の減少により減収となるものの、営業利益は国内原油および国内天然ガス販売数量の増加並びに販売価格の上昇等により増加する見通しとなりました。

経常損益では、営業外費用として、カナダ LNG プロジェクトの取りやめに伴う持分法による投資損失の計上や、カナダオイルサンド事業 3.75 セクション地域での生産操業終了に伴い同地域に係る有形固定資産全額を減価償却費として計上すること等により、経常利益から経常損失に転じる見通しとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益では、カナダ LNG プロジェクトの取りやめに伴う特別損失の計上がある一方で、非支配株主に帰属する当期純損失の計上や、法人税等税金費用の減少等により、経常利益と比べて減益幅は縮小するため、前回発表予想を下回りますが利益を確保する見通しとなりました。

(3) 参考

【原油 CIF 価格の想定 (米ドル/バレル)】

前回予想：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 50 ドル/バレル (見込)
今回予想：平成 29 年 4 月～平成 29 年 6 月 平均 54.63 ドル/バレル (実績)
平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月 50 ドル/バレル (見込)

【為替レートの想定 (日本円/米ドル)】

前回予想：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 110 円/ドル (見込)
今回予想：平成 29 年 4 月～平成 29 年 6 月 平均 112.12 円/ドル (実績)
平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月 110 円/ドル (見込)

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 営業外費用の計上について

(1) 持分法による投資損失の計上

平成 29 年 7 月 26 日付当社公表資料「カナダ ブリティッシュ・コロンビア州における LNG プロジェクトの取りやめについて」でお知らせしたとおり、事業会社である Pacific NorthWest LNG に係る持分法による投資損失約 3 千 7 百万カナダドル (日本円約 32 億円、85 円/カナダドル換算) を、営業外費用に計上する見込みです。

(2) 減価償却費の計上

平成 29 年 8 月 8 日付当社公表資料「カナダ アルバータ州 Hangingstone 鉱区オイルサンドプロジェクトにおける拡張開発事業の生産操業開始と 3.75 セクション地域の生産操業終了について」でお知らせしたとおり、3.75 セクション地域に係る有形固定資産残高 6 千 9 百万米ドル (日本円約 76 億円、110 円/米ドル換算) について、生産高比例法による償却により、全額を営業外費用に計上する見込みです。

3. 特別損失の計上について

平成 29 年 7 月 26 日付当社公表資料「カナダ ブリティッシュ・コロンビア州における LNG プロジェクトの取りやめについて」でお知らせしたとおり、LNG プロジェクトの取りやめに伴う約 900km のパイプライン建設計画の解約費用約 6 千 5 百万カナダドル (日本円約 55 億円、85 円/カナダドル換算) を、特別損失に計上する見込みです。

4. 法人税等調整額の計上について

平成 29 年 8 月 8 日付当社公表資料「カナダ アルバータ州 Hangingstone 鉱区オイルサンドプロジェクトにおける拡張開発事業の生産操業開始と 3.75 セクション地域の生産操業終了について」でお知らせしたとおり、3.75 セクション地域に係る有形固定資産残高 6 千 9 百万米ドル (日本円約 76 億円、110 円/米ドル換算) を全額償却することにより、繰延税金資産約 20 億円を計上するとともに、同額をマイナスの法人税等調整額として計上する見込みです。

以上